

(赤角田さん屋敷) 参加: 17名

第七十三回「本郷ふじやま公園古民家歴史部会」歴史探訪 横浜、西区・中区・磯子区の今昔探訪

(下見) 11/8(木) 家苑 7:50 - 7:57 バス 7:58:03 - 大船駅 8:15
 (本番) 12/6(木) 11 8:00 - 12 8:06 " 8:10 - 大船駅 8:22 - 石川町 8:40

「Ⅷ」12月6日(木) 外国人墓地・フランス山・アメリカ山
 集合: JR 根岸線「石川町駅」南改札口(元町商店街入口側) 9時50分厳守同時出発
 行程: 「石川町駅」→外国人墓地・資料館・ヒマヤ杉→山手の坂道→ゲート座→港が見える丘公園

園・フランス山→アメリカ山・「元町・中華街駅」・「石川町駅」。

食場所: 「」・TEL045-9-07-08(内線) 1番館 9:14~15

1・外国人墓地・資料館 (横浜外国人縁管理委員会運営・80%無縁仏・門柱に英詩人, 1716~71, トマス・グレイの誌, 美人の栄華富豪の覇者, いずれか無情の風にあらざらん, 栄光の路向かう所は墳墓のみ)

異国の地で死亡した外国人は6千坪の敷地に40数カ国, 約5千人が眠っています。ちなみに, 外国人埋葬者1番はペルー再来ミシシッピー号ウイルアムズ2等水兵転倒死だそうです。1854年(嘉永7)幕府が横浜村増徳院埋葬地を提供し, 埋葬されたが, 3ヶ月後伊豆下田の玉泉寺アメリカ人専用墓地に改葬された。その後, 居留地外国人の増加に伴って墓域を拡張し, 現在では1.8haの墓域になっている。根岸外国人墓地(JR山手駅南側丘)は明治35年, 山手外国人墓地が手狭になった為新たに造られた墓地。英連邦戦没者墓地は戦後まもない昭和21年保土ヶ谷区狩場町に英国政府が造成した。

第二次大戦中戦死した英連邦兵士, 軍属など約2000人を葬る。

内訳 (人・推定平成18年5000人)

イギリス人	1500	アメリカ人	1000	ドイツ人	500	その他イスラエル人、オランダ人等
フランス人	200	ロシア人	120	日本人	130	

○墓地に眠る有名人 (noは外国人墓地略図, 埋葬位置図); 1地区, N・ヘフト(ゲート座経営・8)・2地区, M・E・ミラー(フェリス女学院創立者・9)・W・コーブランド(米・日本ビールの父・15)・正面入口左側4地区, 第一次世界大戦没将兵祈念碑・4地区, アメリカ招魂祈念碑・6地区, イギリス招魂祈念碑・9地区, I・T・スウィフト(米・日本YMCA創立・70)・hH・J・ブラック(英・落語家・快樂邸真打・76)・E・R・シンドモアー(米・ジャーナリストアメリカボトマック河畔へ日本の桜を移植し日米友好架け橋ジュネーブ没後遺言で此処に眠る・86) 15地区, L・ストリンプリング(初の機械製氷・

出内 11/15

98)・16地区, フランス招魂祈念碑・H・カミュ (仏・井土ヶ谷事件被害者・109)・
18地区, E・モレル (英・日本鉄設計の父明治5年の開通式目若くして没・113)・19
地区, オネイダ号 (米) 沈没乗船者祈念碑 (明治3年浦賀沖でイギリス船と激突約60人亡
くなるその慰霊碑礎)・20地区, W・マーシャル (生麦事件生き被害者・生糸商・128)・
21地区, J・Hブルーク (ヒマラヤスギ・ジャパンヘラルド主社・132)・W・C・クラ
ーク (生麦事件生き残り・134)・G・W・ボールドウイン (英陸軍少佐・鎌倉事件犠牲者・
138)・R・N・バード (英陸軍中尉・鎌倉事件犠牲者・139) 22地区, R・モフェト・
I・ソコロフ (ロ・本町事件犠牲者・当墓地最古・146) C・L・リチャードソン (英・
商人・生麦事件被害者・149)・フォスとデッケル (オランダ船長と商人・150)。

○増徳院 (高野山真言宗別格本山・海龍山本泉寺・本尊秘鍵弘法大師左手念珠右手剣を持つ珍
尊・元町薬師堂合祀弁財天); 横浜村 (現中区) に創建され, 開山・開基は不詳。江戸時代ま
で洲干 (カ) 弁天の別当を兼ねていた。現在中区元町には元町薬師堂 (合祀弁財天) がある。
幕末に横浜村が開港になると江戸, 神奈川, 保土谷宿はじめ関東一円及び諸国からの人々が
移住し, 来日6ヶ国 (アメリカ・イギリス・オランダ・フランス・ロシア) の外国人と交流
を始めた。多くの町人達は増徳院を菩提寺とした。

2・ヒマヤ杉 (松科常緑高木ヒマヤ原産・杉に似ている・ブルック松とも・ヒマヤ北西部聖樹とされる)

山手地区には横浜らしい風景を醸し出す巨樹が育っている。この木を植栽した人はイギリ
スのブルック氏。ブルック氏はイギリスの港町ボストン生まれ, オーストラリアで総督を務
めた後, 1869年 (明治2) に来日, 在留外国人向けの新聞「ジャパンヘラルド」の編集,
発行に携わった。ブルック氏はヒマラヤスギを初めての本へ輸入植栽したことでも知られる。
1879年 (明治12) にインドからヒマラヤスギの種を取り寄せたが, 全て失敗したと言
う。球果のまま種を蒔いたりして苗を得ることができ, 育てた苗を山手地区一帯に植栽した。
大正12年の震災, 米軍の空襲による大火にも生き残り, 100年余を経て今も山下公園,
フェリス女学院, 山手教会などの大樹が見られる。1902年 (明治35) 1月没, 外国人
墓地内ヒマラヤスギの傍らに眠る。

3・山手の坂道

○見尻坂; 元町商店街から山手方面に曲がると, 道が左右に分かれる左へ地方气象台 (192
7, 昭和2年建設日本で3番目古い庁舎, かつて米海軍病院辺りでアメリカ山と呼ぶ, ソメ
イヨシノ開花宣言庁舎で有名) の脇に出で山手本町通理へ抜ける坂「目に行く人の尻を見上
げる坂」との由来・貝殻坂; 元町公園と外国人墓地の間を上り, やまて本町通りへ通じる坂
「墓地の崖土の中から火殻片混ざって事」の由来・額坂; 元町公園の斜面に沿道「階段

多く急で額がつく程の坂」の由来・代官坂；ペリー来航の祭応接所建設に尽くした総年寄りとして横浜の町役をあずかった名主，石川徳右衛門屋敷があったと事が由来・汐汲坂；市制施行前は汐汲坂と言う町名があった。製塩を副業とした農家の人達が塩を運ぶのに通行したとも言われる。地蔵坂；市制施行前地蔵坂の町名があった。関内から本牧へ向かう古道で当時坂の途中にあった地蔵尊が由来と言う。乙女坂；朝夕登下校の時間帯には，近隣中高女生徒達で賑わう事から「乙女坂」と言われる。牛坂；昔，牛を飼っていた人がいたとか，牛の様にゆっくりでなければ上下出来ないなど，由来諸説有り，坂の下から打越橋を見上げる事が出来る。

4. 建 ゲーテ座 (Gaiety Theater 陽気など由来・跡地は現，岩崎博物館場所) 入の横 11:18

明治3年，本町通りに倉庫を改造したアマチュア劇場「ゲーテ座」が造られました。明治18年，此处に本格的な劇場を完成し，明治41年に改装してから「ゲーテ座」の名を復活して関東大震災で崩壊するまで開演しました。現ゲーテ座は昭和12年建設か？

5. その他付近の建物 11:22 ~ ~~35~~ 35

- 建 ① 横浜イギリス館 (市指定文化財)；元イギリス領事館で，昭和12年(1937)建設。
- 建 ② 山手111番館 (市指定文化財)；JHモーガンの設計，大正15年(1926)にアメリカ人両外商のラファインの住宅として現在地に建てられたスパニッシュスタイルの赤煉瓦と白い壁が美しい洋館。 11:37 ~ 40

- 建 ③ 大仏次郎記念館・霧笛橋 (記念館から神奈川県近代文学館を結) 9:18 ~ 20
「鞍馬天狗」等で知られる横浜生まれ，猫好きの作家の記念館。1978年開館し，自原稿・政治風刺やフランス史文献と猫コレクションも公開。

- 建 ④ 県立近代文学館 9:24
夏目漱石，谷崎潤一郎など，近代文学の貴重な文献を見る言葉出来ます。

- 他 6. 港が見える公園 (展望台からは横浜港、ベイブリッジ一望・市の花バラ約70種1500株集まるバラ園、5,10月) 9:25

北側には元フランス駐屯地のフランス山があり，ヨーロッパ風の庭やバラ園があります。

- 大丸谷坂 (オマルダニザカ)
市制施行前の大丸谷の町名があった。明治期は船員達の繁華街であった。
- チドリ坂 (ムジナ坂)；新山下地区埋め立て以前は，この坂のある崖下は海岸線で，海水浴場でもあった。

- 7. フランス山 屋敷台 11:45
9:27 ~ 29
かつて，フランス軍が駐留し，又，フランス領事館や領事館邸があったことから「フラン

ス山」と呼ばれている。広場にはフラン領事官邸遺構や井戸の水汲み利用していた風車（復元）等がある。



愛宕子場 11:47 風車 11:50

8・機械製氷発祥地碑（元町中華街駅出口横・開港から明治初期に）

横浜から函館から切り出された天然氷会社が作られ、ホテルやレストランやアイス・クリーム・サロンに供給の記録有り。後に「ジャパン・アイス・カンパニー」KKが此の地に設立。慶応3年（1867）1月の「萬国新聞」にわが国新聞広告の第1号と言われる次ぎ様な新聞広告が載った。

パン・ビスケット

右品物私店に御座候

多少によらず御求め下され度願ひ奉り候

横浜元町1丁目 中川嘉兵衛

ボウリング発祥地碑 9:32 11:55

中川嘉兵衛は、当時、元町1丁目で時代の先端を行くパンやビスケットのほか、牛乳や「仙薬熱病丸」のような薬も販売、外国人居留地や江戸・芝高輪で牛肉店や牛鍋屋もしていたが、最も力を入れていたのが製氷業で、後に「我国製氷業の元祖」「業界の恩人」と言われるまでになった

中川嘉兵衛（1817～97 明治 30）は文化 14 年 1 月三河に生まれ、地元では「奇童」の声高く 16 歳で上洛（京都）し、儒学者・巖垣松苗（イガキマツエ）に漢学を学んだ。安政 4 年（1857）横浜開港の噂を聞きつけ、単身江戸に出た。40 歳の時。（注）横浜元町古今史点描抜粋。

○巖垣松苗（1774～1849）；江戸後期儒学者。京都の人・伏原宣光に学び、大学音博士・大舎人（木村初・宮中職）助に叙任（ジョニ・官に任ずる）。横濱元町古今史点描から抜粋。



9・クリーニング業発祥地碑（谷戸坂登口左側）

9:34 11:55

安政 6 年（1859）に本町 1 丁目で青木屋忠七が始めた。それから、文久元年（1861）～万延元年（1860）に渡辺善兵衛により元町で西洋洗濯業を開業し、それを小島庄助が引き継いだ。続いて、脇坂金次郎が慶応 3 年（1867）に今の谷戸坂で西陽洗濯業を開業し、洗濯業が増え

ていった。

機械製氷発祥の地 11:58



10・アメリカ山立体公園（幕末、明治初期アメリカ公使館予定地だった・平成 21 年開園・環境に優しいビール屋上利用の新しい公園）・元町貝塚

かつて、この丘に、縄文人が住んでいた（5000 年前）。東西 7m 南北 18m 規模、元町貝塚は、南西斜面と北斗斜面との、2 ヲ所の貝塚から成る遺跡であること確認された。

石川町駅 9:51 11:12:10 243

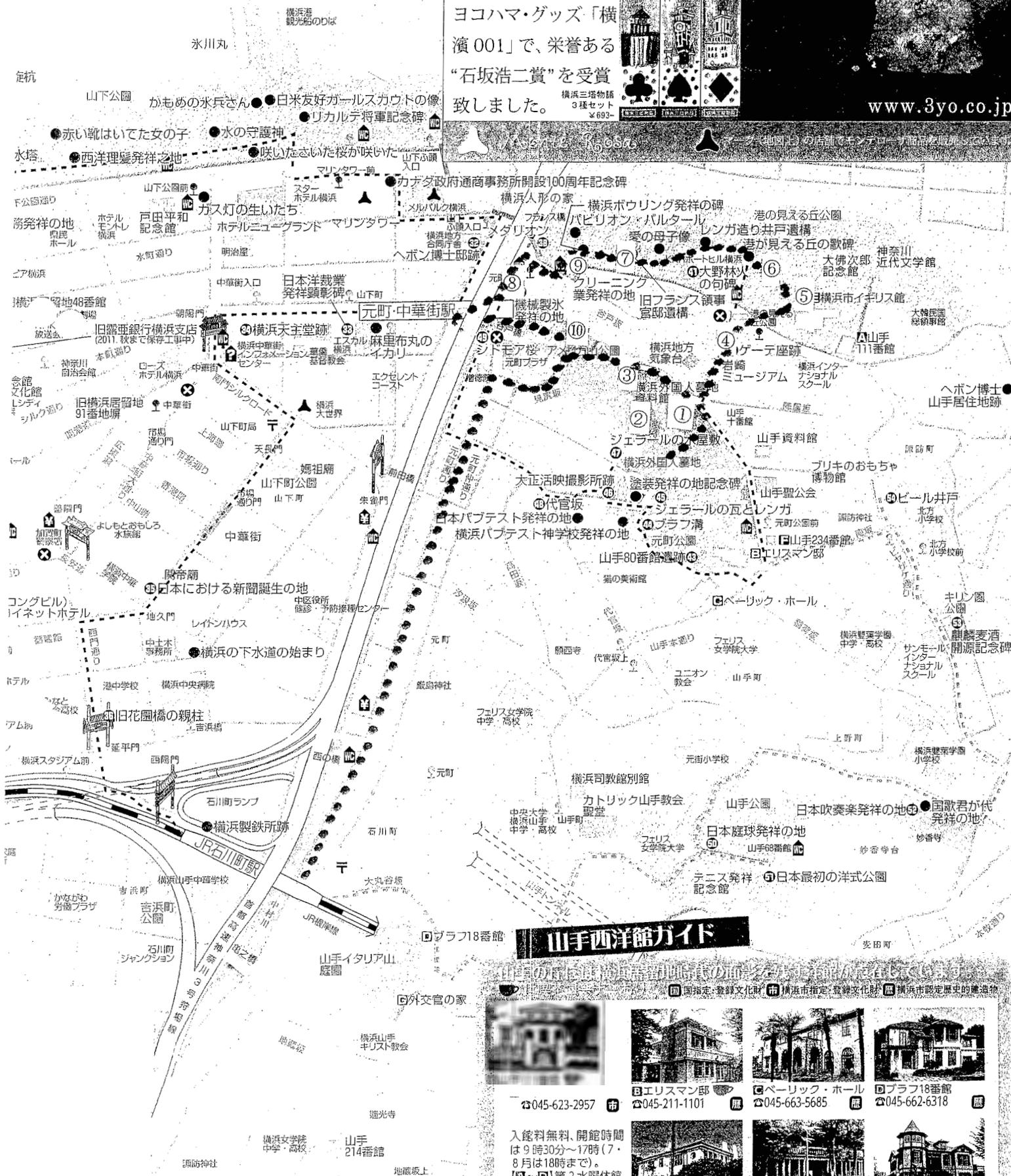
以上

「三塔が見えるスポットを、全てめぐると願いが叶う」という伝説にちなんだスティックケーキです。しっとりとし厚みある食感と、味にこだわった本格的なケーキです。ヨコハマ・グッズ「横浜001」で、栄誉ある「石坂浩二賞」を受賞致しました。



しあわせが叶う!?
[横浜三塔物語]

www.3yo.co.jp

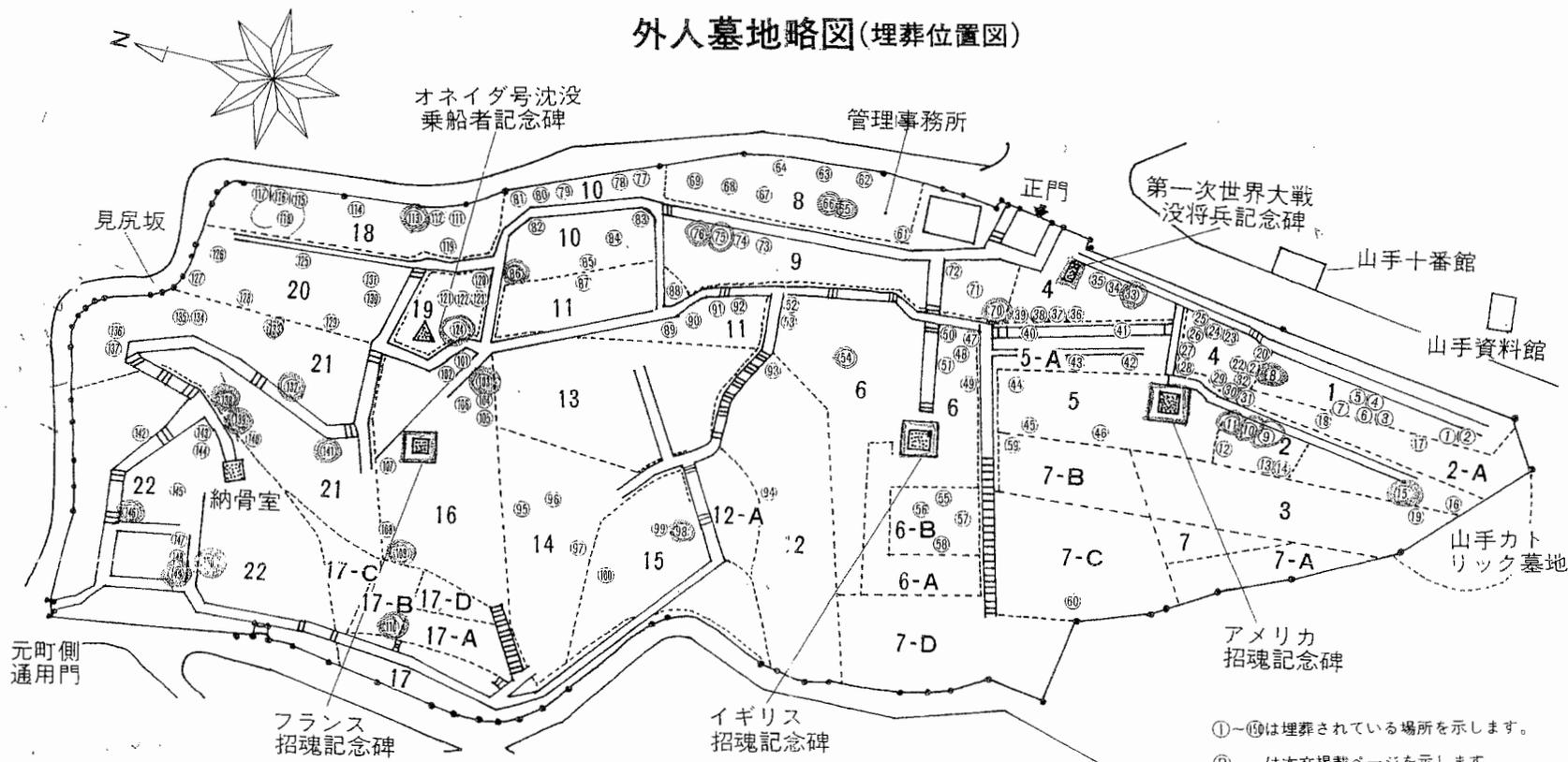


山手西洋館ガイド

☎045-623-2957 市	☎045-211-1101 民	☎045-663-5685 民
☎045-623-7812 市	☎045-625-9393 民	☎045-662-8819 国

入館料無料、開館時間は9時30分～17時(7・8月は18時まで)。
 [A~D] 第2水曜休館 [B~D] 第4水曜休館
 いずれも祝日のときは開館、翌日休館

外人墓地略図(埋葬位置図)



①-⑳は埋葬されている場所を示します。
 ㊦は本文掲載ページを示します。
 1-22は地区割を示します。

- [1 地区] ① P・B・シュマケル (貿易商、貝類収集家)㊦101
- ② W・R・H・カリュー (クラブ支配人)㊦197
- ③ L・サミー (フランス語教師)㊦64
- ④ F・J・カステロ (駐日スペイン大使)㊦105
- ⑤ H・テナント (ジャパン・ガゼット主筆)㊦77
- ⑥ T・ブリュワー (横浜消防隊委員)㊦124
- ⑦ W・カメロン (燈台局お雇い外国人)㊦32
- ⑧ N・ヘフト (ゲート座経営)㊦120
- [2 地区] ⑨ M・E・ミラー (フェリス女学院創立者)㊦157
- ⑩ J・A・モルトン (同学院音楽教師)㊦159

- ⑪ 林貞子 (同学院副校長)㊦159
- ⑫ C・オルワルド (共立女子神学校教師)㊦163
- ⑬ H・ルーミス (宣教師)㊦163
- ⑭ C・D・ルーミス (共立学園校長)㊦163
- ⑮ C・H・D・フィッシャー (横浜バプテスト神学校教師)㊦154
- ⑯ W・コーブランド (日本のビールの父)㊦117
- ⑰ W・P・M・フェーゲン (ジャーナリスト)㊦77
- [2 A 地区] ⑱ W・テイラー (宣教師)㊦167
- ⑳ C・B・バーナード (茶の貿易商)㊦108
- [3 地区] ㉑ D・M・ウィルキンソン (FEBC東京支局長)㊦140

- [4 地区] ㉒ J・W・コルドン (貿易商)㊦116
- ㉓ N・ブラウン (宣教師)㊦150
- ㉔ M・E・シモンズ (婦人宣教師)㊦156
- ㉕ J・M・スコット (洋服仕立業)㊦119
- ㉖ F・タウンレイ (レン・クロフォード商会)㊦116
- ㉗ J・ダイアック (鉄道建設副役)㊦19
- ㉘ T・トーマス (手形仲介人)㊦188
- ㉙ L・H・ピアソン (共立学園創立者)㊦161
- ㉚ J・N・クロスビー (同上)㊦161
- ㉛ S・B・ヒギンズ (婦人宣教師)㊦156

(生田恵哉著)

⑩①・H・コレル (宣教師)	②155
⑩②・H・C・S・マクレイ (青山学院院長夫人)	②155
⑩③・M・T・K・バラ (宣教師夫人)	②136
⑩④・エルドリッジ (医師)	②92
⑩⑤・J・ウォルター (貿易商)	②115
⑩⑥・J・F・ラウダー (弁護士)	②103
⑩⑦・M・コット (旧日本軍軍医)	②207
⑩⑧・J・W・ホール (競売業)	②116
⑩⑨・N・ゴンザカ (お雇い外人教師)	②53
⑩⑩・E・アボット (居留地の商人)	②119
[5 A 地区] ⑩⑪・A・E・ピアソン (貿易商)	②185
⑩⑫・中里ミドリ (小説の主人公)	②218
⑩⑬・P・ビングラードフ (ピアニスト)	②179
⑩⑭・井口貞夫 (外交官)	②225
[5 地区] ⑩⑮・M・スコット (横浜税関雇外人)	②51
⑩⑯・C・ブレメルマン (お雇い警官)	②50
⑩⑰・D・T・ウィード (慶応義塾英語教師)	②64
[6 地区] ⑩⑱・J・C・ホール (英国領事代理)	②105
⑩⑲・A・メケル (山手一般病院長)	②96
⑩⑳・A・C・ウィルム (ロシア領事)	②105
⑩㉑・T・M・ラフィン (両替商)	②189
⑩㉒・E・H・ホルムズ (英国領事夫人)	②105
⑩㉓・J・M・カイバー (フェリス女学院3代校長)	②160
⑩㉔・D・H・シェイファー (同4代校長子息)	②160
⑩㉕・E・A・バスチャン (富岡製糸場設計者)	②33
[6 B 地区] ⑩㉖・L・ウィンクラー (慶応大学語学教授)	②181
⑩㉗・西富資子 (大使夫人)	②224
⑩㉘・A・ビント (東京外語大教師)	②64
⑩㉙・J・ムニョス (同スペイン語教師)	②64
[7 B 地区] ⑩㉚・F・ロラント (バイオリン奏者)	②179
[7 C 地区] ⑩㉛・G・コモル (貿易商)	②102
[8 地区] ⑩㉜・H・アーレンス (織物・染色業)	②116
⑩㉝・R・ヘイ (ジャーナリスト)	②77
⑩㉞・A・ウィグゾル (英国海軍機関士)	②52
⑩㉟・J・サマーズ (英語教師)	②65
⑩㊱・C・グリフィン (日本初のボーイスカウト創設)	②172
⑩㊲・E・O・ラムゼー (船長)	②56
⑩㊳・V・セーバツハ (法律家)	②49
⑩㊴・A・ジェフリー (馬車会社経営)	②129
⑩㊵・E・O・カービー (屠牛場経営)	②131
[9 地区] ⑩㊶・T・スワイト (YMCAの恩人)	②168

⑩㊷・M・デンチシ (居留地のパン屋)	②133
⑩㊸・R・S・ミラー (アメリカ領事)	②170
⑩㊹・A・J・C・ゲールツ (理化学者)	②41
⑩㊺・J・F・プラント (時計の輸入商)	②110
⑩㊻・J・G・V・グント (お雇い外人技師)	②93
⑩㊼・J・R・ブラック (新聞業)	②70
⑩㊽・J・ブラック (落語家)	②78
[10 地区] ⑩㊾・E・レイシー (横浜YWCA主事)	②171
⑩㊿・D・ヒラー (同)	②171
⑪①・J・シコシ (冷凍機の開発者)	②135
⑪②・マチルド (紅蘭女学校創立者)	②164
⑪③・マルトワ (サンモール修道会修道女)	②167
⑪④・E・モリス (香港上海銀行支店長)	②116
⑪⑤・H・J・マイヨ (東大物理学教師)	②58
⑪⑥・関東大震災で亡くなった修道女たち	②167
⑪⑦・N・モルギン (消防隊長)	②124
⑪⑧・J・A・シャンボン (カトリック宣教師)	②167
⑪⑨・E・R・シドモア (女性ジャーナリスト)	②215
[11 地区] ⑪⑩・F・H・ショナー (貿易商)	②116
⑪⑪・H・L・グラウエルト (貿易商)	②113
⑪⑫・エブラールとルモアヌ (宣教師)	②167
⑪⑬・C・H・ソーン (印刷業)	②187
⑪⑭・E・F・キルビー (横浜商法会議所議員)	②116
⑪⑮・J・ロバートソン (根岸競馬場の馬主)	②189
[12 地区] ⑪⑯・ウッケルマルク号遭難者の碑	②205
⑪⑰・E・バフロウ (日本バレエ界の親)	②175
[14 地区] ⑪⑱・C・B・テンネー (関東学院初代院長)	②154
⑪⑲・A・A・ベンネット (神学校校長)	②153
⑪㉑・D・R・アプカ (根岸競馬場スターター)	②189
[15 地区] ⑪㉒・J・ストルンプリング (初の機械製氷)	②125
⑪㉓・R・アベイ (電信技師)	②62
⑪㉔・W・E・クラーク (登山家)	②211
[16 地区] ⑪㉕・E・ウィーラー (医師)	②94
⑪㉖・J・P・モリソン (貿易商)	②109
⑪㉗・J・ワークマン (ポンチ漫画の元祖)	②83
⑪㉘・W・B・メイソン (電信技師、英語教師)	②58
⑪㉙・E・マッセ (山手病院内科医)	②69
⑪㊱・G・スタニツヒ (イタリア外交官)	②202
⑪㊲・F・G・ウッドラフ (食品卸業)	②132
⑪㊳・R・メーグール (商人)	②116
⑪㊴・H・カミュ (井土ヶ谷事件の被害者)	②12

[17 B 地区] ⑪㊵・E・W・ゴープル (宣教師ゴープルの妻)	②141
[18 地区] ⑪㊶・H・ホートン (客車荷車頭取)	②24
⑪㊷・C・S・キングストン (鉄道公安官)	②24
⑪㊸・E・モレル (日本の鉄道建設の父)	②19
⑪㊹・J・イングランド (鉄道建築副長)	②19
⑪㊺・H・リッテル (理学者)	②46
⑪㊻・T・ジャン (鉄道建設副長)	②23
⑪㊼・E・S・ベンソン (居留地取締長官)	②50
⑪㊽・W・ランガン (馬車会社経営)	②127
⑪㊾・N・P・キングドン (貿易商)	②91
[19 地区] ⑪㊿・A・G・ベーツ (札幌農学校教師)	②69
⑫①・J・レマート (アメリカ号操舵見張員)	②194
⑫②・J・H・バーカー (同機関士)	②194
⑫③・T・ブリアン (同コック長)	②194
⑫④・R・P・ブリジエンス (建築家)	②39
[20 地区] ⑫⑤・F・S・ブース (美学家)	②213
⑫⑥・E・コーンス (宣教師)	②190
⑫⑦・A・バーナード (保険代理業)	②116
⑫⑧・W・マーシャル (生麦事件の被害者、生糸商)	②7
⑫⑨・T・A・バーセル (英国海軍の軍医)	②95
⑫⑩・F・コッキング (貿易商の妹)	②98
⑫⑪・A・M・フェントン (軍楽隊長の妻)	②180
[21 地区] ⑫⑫・H・ブルーク (ジャパン・ヘラルド発行人)	②77
⑫⑬・E・サンダース (三井家の元家政婦)	②220
⑫⑭・W・C・クラーク (生麦事件の生き残り)	②7
⑫⑮・J・マクドナルド (英国公使館顧問)	②129
⑫⑯・C・H・モス (横浜、神奈川の文化賞を受賞)	②115
⑫⑰・J・ファーマー (馬車会社経営)	②128
⑫⑱・F・W・ボールドウィン (英陸軍少佐)	②15
⑫⑲・F・N・バード (// 中尉)	②15
⑫㉑・J・R・アングリン (ジャパン・ガゼット社主)	②132
⑫㉒・C・K・M・マーチン (貿易商)	②111
[22 地区] ⑫㉓・J・J・R・ダリントン (山手一般病院名誉院長)	②96
⑫㉔・J・ビローム (船長)	②196
⑫㉕・E・W・ワード (船長)	②195
⑫㉖・H・W・グーブ (フランス語教師)	②60
⑫㉗・E・フレトとソコロフ (海軍見習士官と水兵)	②4
⑫㉘・R・ショヤー (ジャパン・エクスプレス副刊)	②106
⑫㉙・C・R・ボイド (大阪造幣局技師)	②52
⑫㊱・C・L・リチャードソン (商人、生麦事件の被害者)	②4
⑫㊲・F・オースとデッケル (オランダの船長と商人)	②4

(生麦熱義著)